

平成20年度予算の概要

各会計予算

	金額	対前年度増減比
一般会計	1,495億5,000万円	2.9%
国民健康保険事業特別会計	515億7,700万円	1.2%
後期高齢者医療事業特別会計	68億6,700万円	皆増
老人医療事業特別会計	33億6,700万円	-88.8%
介護保険事業特別会計	213億7,300万円	0.6%
駐車場事業特別会計	3億9,820万円	-0.2%
合計	2,331億3,220万円	-6.2%

区民一人当たりの予算額(一般会計)

高齢社会への対応や健康づくり等、福祉と衛生に	126,238円
小中学校の運営や生涯学習の支援などに	39,615円
災害対策や地域活動、文化振興などに	54,924円
道路・公園整備やまちづくりに	40,879円
清掃事業や環境対策に	16,046円
中小企業に対する融資など産業経済に	7,230円
特別区債の償還などに	10,514円
国民健康保険・介護保険事業などの繰り出しに	40,484円
合計	335,930円

人口は442,715人(平成20年1月1日現在)から算出し、合計には、予備費等が含まれていません

2月20日の本会議において、平成20年度各会計予算案6件を審査するために、39名の議員で構成する予算審査特別委員会が設置されました。

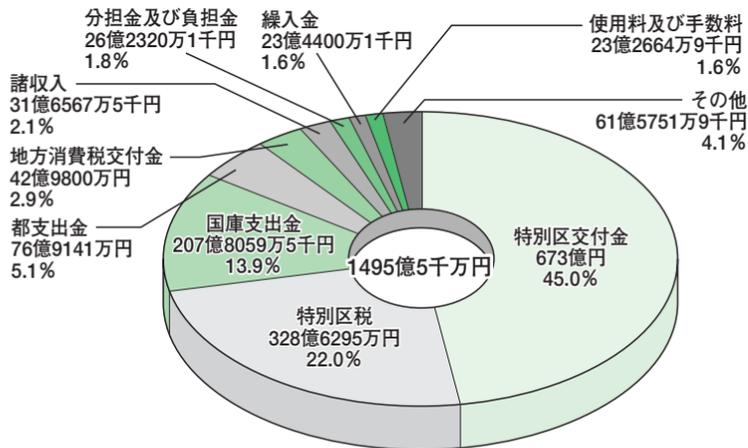
予算案は、3月3日の予算審査特別委員会においての総括質疑の後、4分科会で詳細に審査され、11日の予算審査特別委員会において、各分科会長から審査経過の報告を受けた後、各会計予算の採決を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定、3月27日の本会議において可決されました。

予算審査特別委員会

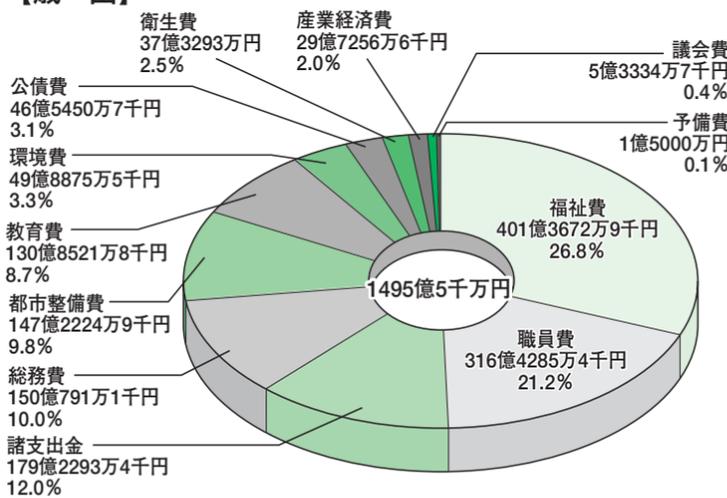
平成20年度予算を審査

一般会計

【歳入】



【歳出】



※四捨五入しているため、構成比の合計は100%になりません。
 ※歳入のその他は、繰越金など。

平成20年度予算に対する各会派の意見

この面から7面までに、平成20年度予算に対する各会派の意見を掲載しました。

葛飾議会公明党

創意工夫した施策で目指す
 区民と創る元気なかつしか

株価の下落、原油の高騰による消費者物価の上昇等、経済の先行きに不透明感が広がっています。特に、中小零細企業の多い本区では、景気減速への不安を感じている区民の声も多く聞いているところであります。また、現在国で審議されている税制改正の動向によつては、本区の財政にも多大な影響を及ぼすことが懸念されますが、本区が自立した基礎自治体として、簡素で効率的な行政運営の遂行はもとより、いかなる社会経済状況の変化にも柔軟に対応できる財政基盤の確立を図つていく必要があると認識しております。

このような中、平成20年度当初予算は、重要施策及び重点事業に貴重な財源を効果的かつ効率的に振り分けて編成され、また「経営改革大綱」「改革パワーアッププラン」に掲げる経営改革の取り組みを着実に推進し、新たに本区をアピールする多くの施策に取り組んだことは高く評価します。

総務費——魅力ある葛飾とするために予算配分に考慮し、区民サービスの観点から、利用頻度の高い庁舎トイレ等の改修、行き届いた清掃を求めます。コールセンターの検討は是非前向きに取り組んで欲しいと思います。人権推進問題は、施策の充実を図る上からも庁内での横断的な対応を求めます。文化会館改修にあたっては環境に配慮した設計を望みます。

産業経済費——「るるぶ情報版葛飾区」「まつぶるマガジン葛飾区」の有効利用で、本区のさらなるPRを要望します。雇用の厳しい葛飾において、雇用・就業マッチング支援事業の力強い推進を求めます。中小企業融資事業は、いねいな対応を望みます。

福祉・衛生費——保育料の多子軽減策、待機児童の解消策、わくわくチャレンジ広場の拡充、(仮称)子ども総合センター等の建設準備のほか、発達

障害児への対応、妊婦健診の無料化、こんにちは赤ちゃん事業等、子どもを産み育てたくなる環境づくりを進め、「子育てするなら葛飾で」の実現を望みます。高次脳機能障害者への事業とボランティアの育成が予算計上されたことは評価します。後期高齢者医療制度や特定健康診査、特定保健指導の実施にあたり、区民の理解が得られるよう周知徹底を求めます。保健医療計画の策定は、救急医療対応などについて高い水準が確保できるよう望みます。

環境費——葛飾区地球温暖化対策地域推進計画の施行にあたり、緑のカーテン事業の推進とともに、CO2削減の効果がわかるような太陽光発電システムの取り組みを望みます。保存樹木助成など、緑の保全により力を入れるとともに、水生生物、植物を再生できる環境行政の推進や区民農園の施策の充実を望みます。

都市整備費——建築確認が円滑に行われることを要望します。区民が安心して水辺と触れ合えるワンドの再生、発災時には緊急避難に使用できるポール遊び用ケージの防災公園への設置、緑化と愛郷心育成を目指した記念植樹、菜の花を生かした「花いっぱい」の街づくりについても実現を求めます。

教育費——学力、文化、スポーツ、生きる力を身につけることで、他区に引けを取らない葛飾区を築くことを要望します。特に、転入時の学校選択制の適用、学力向上に向けた取り組みの充実・強化、中学生の職場体験の充実、家庭の芝生化など環境教育の推進、放課後子ども事業の拡充、「ナンバーワン」「オンリーワン」として誇れる中央図書館の建設、地元要望にこたえた葛飾図書館の跡地利用、都立高校の開放などについて、前向きに検討することを求めます。また、遊びや学びの多くの体験から豊かな感性、創造力、知的好奇心を高めることのできる施設の実現を要望します。特別会計では、出産育児一時金の拡充など出産時の経済的負担の軽減、生活保護者への保健指導の実施について要望します。